

第36号

令和2年8月10日発行

(公社) 和歌山市シルバー人材センター
〒640-8157 和歌山市八番丁4番地
(和歌山市八番丁館内)

TEL (073) 431-1270(代)
432-4680

FAX 431-6272



令和2年度
定時総会を開催

新役員紹介

総会当日の理事会において、新役員が選任されましたので紹介します。

【新任役員】

- 理事長 山下直樹
- 理事 中野征文
- 理事 上野美知
- 監事 西川三郎

なお、理事長、理事2名及び監事1名が退任されました。

長年にわたり、ご貢献いただきありがとうございます。

【退任役員】

- 理事長 尾崎順一
- 理事 磯部義雄
- 理事 田村佳紀
- 監事 林 憲夫



理事長の挨拶

理事長 山下 直樹



このたび、令和2年度の定時総会にて理事に選任していただき、理事会におきまして、理事長に就任いたしました山下でございます。

和歌山市シルバー人材センターは、昭和56年の設立以来、39年にわたり高齢者の能力を活かした就業を援助し、活力ある地域社会づくりに寄与してまいりました。

これも一重に、会員の皆様方をはじめ関係者が「自主・自立・共働・共助」の精神のもと、多大なご尽力の賜物と心から感謝と敬意を表すものであります。

さて、今、世界に大きな影響を与えている新型コロナウイルスの脅威は、私たち人類がいかに感染

を防ぎ、尊い命を守り、日常生活をはじめ、社会全体の持続と発展について、そのあり方を改めて考える機会を与えられているように思います。

また、社会において、少子高齢化と人口減少が進展する中、特に日本の高齢化率の推移は、諸外国でも類を見ないほどの上昇率となっており、今後、当センターの会員確保や運営にも少なからず影響が危惧されるところであります。

今後、当センターとしましては社会情勢の進展や変化を注視し、時代のニーズに応じた対応ができるよう、会員皆様方をはじめ関係諸団体との連携を密にし、円滑な事業運営を図るとともに、会員の増強、就業機会の確保・拡大、さらには、安全・適正就業の徹底に努め、地域社会における理解と信頼を深め、活力ある地域社会づくりに貢献できるよう鋭意努力を重ねてまいりたいと考えています。

理事長として、その責任と果た

すべき役割の重さを肝に銘じ、少しでも社会のためにお役に立てるよう、また、地域社会の活性化のために、新たな使命感をもって、誠心誠意努めてまいりますので皆様方のご指導、ご鞭撻、並びにお力添えを賜りますようお願い申し上げます、就任にあたりましてのご挨拶といたします。

令和2年度事業計画

1 基本方針

シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、就業を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的または軽易な作業を提供することにより、高齢者の社会参加の促進と生きがいを増進し、高齢者がこれまでに培った能力や経験を地域に活かすことによって、地域社会の活性化の一端を担っています。

令和元年版「高齢社会白書」では、我が国の65歳以上の高齢者の

人口は、3,558万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は28.1%となり、超高齢社会が急激に進んでいく中、地域社会の活性化に貢献するシルバー人材センターが果たす役割はますます重要となってきました。

しかしながら、高齢者雇用安定法第9条で高齢者の65歳までの安定した雇用を確保するため、事業主が「65歳までの定年の引上げ」「65歳までの継続雇用制度の導入」「定年の廃止」のいずれかの措置（高齢者雇用確保措置）を実施するなど、センター入会者の年齢が以前より増して高くなっているのが現状です。

このような厳しい状況のなか、当センターの会員数は会員増強の成果が表れ、増加の兆しが見えています。

和歌山市シルバー人材センターは、和歌山市及び（公社）和歌山県シルバー人材センター連合会を始めとする諸団体と連携を図りな

がら、財政の健全化・事業運営の効率化を進めるとともに、「会員の増強」、「就業機会の確保・拡大」、「安全・適正就業の徹底」に努め、地域社会のセンターに対する理解と信頼を深め、活力ある地域社会づくりの一翼を担うよう事業の推進に取り組んでまいります。

2 令和2年度事業目標

会員数 826名
受注件数 2,600件
契約金額（受託事業）

221,582千円
（派遣事業）

就業率 26,000千円
80パーセント

3 事業実施計画

- ① 会員の増強
- ② 就業機会の確保・拡大
- ③ 安全・適正就業の徹底
- ④ 普及啓発活動の実施
- ⑤ 研修会・講習会の開催及び参加
- ⑥ 会員組織の活用及び機能の充実
- ⑦ 組織体制の充実

理事会報告

令和元年度第5回(3月19日開催)

議案第1号 令和元年度第2回補

正予算

議案第2号 令和2年度事業計画

議案第3号 令和2年度収支予算

報告事項

(1) 正会員の加入及び事業実績について

(2) 職務執行状況の報告について

(3) 正会費について

(4) 会議等の日程について

(5) 事務局の人事について

(6) 専門委員会からの報告について

令和2年度第1回(5月15日開催)

総会提出5議案が承認されました。

総務委員会報告

令和元年度第4回総務委員会

(2月13日開催)

- ① 報告事項について
② 今後の活動について

就業開拓委員会

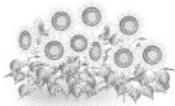
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月12日に予定していた就業開拓委員会を中止としました。

安全・適正就業委員会報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月13日に予定していた安全・適正就業委員会を中止としました。

○事故発生者に対して

- ・物損賠償事故でシルバー保険適用者から免責金額1万円徴収しています。
・前記該当者は、今後の事故防止対策の参考とするため委員会にて事情聴取しています。



年度別事故発生状況 (5年間)

Table with columns: 年度, 総件数, うち就業中 (傷害, 賠償, 計), うち就業途上 (交通事故, 自己転倒, 計). Rows for years 28, 29, 30, 令和元, 令和2.

【令和2年6月30日現在】

会員表彰

正会員として10年以上にわたり在籍し毎年1回以上就業された16名の方々に対して、賞状と記念品を贈り功績を称えました。

役員表彰

役員として2期以上在任しその職を退かれた方に対して、賞状と記念品を贈り功績を称えました。
監事 林 憲夫

Table listing names of members and officers in a grid format.

福島のスポーツ広場において、極東開発工業(株)様に講師をお願いして開催しました。特に安全



○特殊車輛(パッカー車)使用講習会(12月18日開催)

研修・講習会だより



写真：会員・役員表彰受賞者

面を重点的に指導いただき会員20名が熱心に受講しました。

○植木剪定実技講習会

(2月26日開催)

和歌浦御手洗池公園において、午前には樹木を中心に27名、午後は松の剪定に22名が受講されました。



○県連合会主催の植木剪定講習会に協力及び参加

(2月12日～14日)



県下で継続的に剪定講習会を実施し後継者の育成を行うため、紀北第2ブロック(和歌山市、海南市)で県連合会が開催した講習会(下津町)に和歌山市から会員3名が参加し、全面的に協力しました。

※例年開催していた草刈機安全使用・技能講習会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

○今後の講習会予定

11月19日・20日に接遇研修会開催予定

西庄ふれあいの郷

当センターが、指定管理者となつて管理を受託している西庄ふれあいの郷では、各種イベントを行いました。

◎表敬訪問(5月19日)

尾花正啓和歌山市長・井上直樹市議会議長を、尾崎理事長、事務局で訪問し、当センターが和歌山市より指定管理の指定を受けて管理運営している『西庄ふれあいの郷』の現



郷』の現況報告および、日頃の当センターに對するご協力にお礼申し上げます。

また、井上市議会議長が表敬訪問の翌日(5月20日)に、『西庄ふれあいの郷』の現地視察を実施し、理事長・事務局・会員で対応しました。



◎ラベンダーの花摘み体験

(5月30日・31日)



例年5月に開催していた「ハーブの花摘み体験」が、新型コロナウイルス

ナウウイルス感染症の影響により中止となっていたが、緊急事態宣言も解除となり和歌山市と当センターが協議して、急遽、飛び入り参加の「花摘み体験」開催となり、和歌山市長の5月28日、記者発表されたこともあり、2日間で延べ350名のご参加があった。

参加者には、当園自慢のハーブティを試飲いただくとともに、刈り摘みしたラベンダー、ローズマリーを持ち帰っていただき最後まで楽しんでいただきました。

なお、イベントの様子が読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、わかやま新報に掲載されました。



◎NHK和歌山放送局(テレビ)の取材対応 (6月3日)

NHK和歌山放送局から「西庄ふれあいの郷」ハーブ園のハーブの花の見ごろについて取材があり、尾崎理事長、久保事務局長、漬滝副主幹、管理会員で対応し、同日、15時5分から、18時30分からの2回放映されました。



◎テレビ和歌山の取材対応

(6月22日)



テレビ和歌山から「西庄ふれあいの郷」ハーブ園にて、ラベ

ンダー・ローズマリー・カレップラントなど庭園をメインに取材があり、山下理事長、漬滝副主幹、川島企画員、管理会員で対応し、17時30分からの番組「イブニング」にて2度、生中継されました。

◎ゲートゴルフ大会参加者募集

10月6日に西庄ふれあいの郷で、当センター主催によるゲートゴルフ大会を開催します。詳細は市報わかやま9月号に掲載します。

参加希望者は事務局に問い合わせください。

◎ハーブの苗販売のお知らせ

ハーブの苗を210円で販売し

ています。

◎西庄ふれあいの郷 今後のイベント予定

10月 ゲートゴルフ大会

11月 フラワーアレンジ教室

12月 フラワーアレンジ教室

※例年、実施していた紀州おどり「ぶんだら節」での当センター普及啓発活動は、お祭りの中止に伴い、取り止めます。

◎新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベント

「挿し木体験」(3月23日)

「ハーブ教室」(5月25日)

令和元年度事業実績

令和元年度の事業実績は、請負・委任の受注件数2,216件で前年度に比べ83件の減となり、契約金額は約127万円減の168,564,317円となりました。令和2年度の目標達成に向け、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、センター一丸となって頑張りましょう。

年度	受注件数(件)	契約金額(千円)
平成29年度	2,373	167,164
平成30年度	2,299	169,837
令和元年度	2,216	168,564

(3月31日現在)

年度	男性	女性	合計
平成29年度	438人	216人	654人
平成30年度	420人	223人	643人
令和元年度	461人	253人	714人

(3月31日現在)

安全就業を目指して

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を会員一人ひとりが意識し、実行する事が重要です。会員全員が事故防止意識を持って「事故ゼロ」を目指して安全就業に心がけましょう。

◎安全心得10か条

- ① 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。
- ② 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- ③ 服装・履物は作業に合った動きやすいものにする。
- ④ 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- ⑤ 諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- ⑥ 作業現場は常に整理整頓に心がけること。

- ⑦ 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- ⑧ 酒気を帯びての就業は、絶対につつむこと。
- ⑨ 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- ⑩ 仕事の前日は、充分睡眠をとるよう心がけること。

◎全国統一安全就業スローガン

(令和2年度から4年度)

『いつまでも』

働く喜び

無事故から』



シルバー会員を募集しています

入会説明会は、原則として偶数月第3火曜日午前10時から、和歌山市福祉交流館あいあいセンターで開催しています。

- ・ 市内に在住している60歳以上の方
- ・ 健康で働く意欲のある方

入会説明会日程

令和2年	8月 18日
令和2年	10月 20日
令和2年	12月 15日
令和3年	2月 16日

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。

植木剪定・草刈りのできる方を募集しています。

センターの仕事のうち、植木の剪定や草刈の仕事は発注から長い間お待ちいただき、発注者にご迷惑をお掛けしています。センターとしても頭の痛い課題です。そこで、会員のうちで植木の剪定ができる技術を持った方や夏場の草刈もできる頑健な方を募集しています。やってみようと思われる会員は、事務局まで連絡してください。また、お知り合いにそのような方がいれば、ぜひ入会をお誘いください。



高齢者向きの仕事は
ありませんか？

会員全員で就業開拓をしまし
う。

◎宛名書き・賞状書き・簡単な
事務

◎建物管理・施設管理・駐車（駐
輪）場管理

◎簡単な大工仕事・ペンキ塗り・
植木手入れ

◎草刈り・除草・清掃

◎家事手伝い・留守番・介護補
助



事務局職員紹介

事務局長 久保有史

事務局次長 瀬藤富男

総務班 谷 和哉

班長 前野光加

企画員 山田友子

嘱託職員 潰滝剛久

業務班 川島博文

企画員 山口隆三郎

企画員 石倉啓司

嘱託職員 早瀬 聖

嘱託職員

川柳 紹介

和シルバー
わが町守る
活勢隊

剪定を
和歌山シルバー
ていねいさ

みてみてよ
ここの絵画を
見事です

和歌山を
こんなにきれいに
シルバ隊



作 木本地区 澤井精二

※原稿をお寄せください！
俳句、川柳、短歌、書、写真
絵画など

事務局まで

帽子とベストの
貸与について

屋外作業の会員に帽子・ベストの
貸与をしています。まだ貸与されて
いない会員は、センター事務局にて
申し出てください。



就業報告書の提出はすみやかに！

就業報告書の提出は、就業された月の翌月5日までが締め切りとなっています。就業後すみやかに事務局に提出してください。

また、トラブルになるケースもありますので、特別な事情がない限り、発注者様に記入・押印してもらってください。

シルバーだよりの原稿募集

会員の皆さんからの投稿を募集しています。

▽シルバーでの就業、講習などの感想、趣味の話、旅行記、家族の話、随筆、世相や社会問題などテーマ不問

▽俳句、川柳、短歌、書、写真、絵画等の作品など

次回の1月号の締め切りは、11月16日(月)です。事務局まで原稿をお寄せください。

また、編集の協力をしていただける方や表紙写真を撮影してくださる方を募集しています。御意見、御要望などもお寄せください。

会員紹介キャンペーン

1会員1人紹介運動！！



今、シルバー人材センターでは会員の増強キャンペーン

「1会員1人紹介運動」を展開しています。

会員の皆様におかれましては、ご家族、ご近所、お友達等
お知り合いで、シルバー人材センターに入会の希望の方が
おられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。